



さくらだより

第 64 号

2024年10月1日



京都老人福祉協会の理念



CONTENTS

- 介護予防推進センター フレイル予防とは
- 京都老人福祉協会の障がい児・者向けサービス
- うづらこども園 色水あそび
- 決算報告書
- きっちゃん「さくら」 墨染まちとくらしセンター5周年創立記念メニュー
- 編集後記





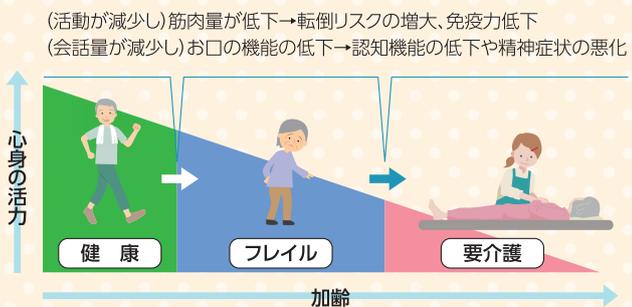
小村祐介職員

介護予防推進センター フレイル予防とは



はじめまして。6月より京都市深草・醍醐地域介護予防推進センターで勤務しております、小村祐介（コムラ ユウスケ）と申します。私はかつて体育大学の大学院で、スポーツ中の怪我の予防や、より身体を強くすることにつながるトレーニングの研究をしていました。また、健康運動指導士として、若年アスリートからご高齢の方まで、さまざまな方への運動指導の経験を積んでまいりました。

私は当センターで、フレイル予防に携わっています。フレイルとは、加齢とともに心身の機能が低下した状態を指します。病気やケガをきっかけに陥ることもありますし、人との繋がりから遠ざかるなどして、気づかないうちに徐々に至ってしまうこともあります。



フレイルは適切な対策に取り組めば、健康な状態を取り戻すことが十分に可能です。地域の方々がなるべくフレイルにならないように、そしてフレイルの方が改善できるように支援をするのが、当センターの役割です。具体的には、体力測定会の実施、栄養や運動、口腔ケア、脳トレや認知症に関する教室を運営するこ

とや、地域で活動して下さっている公園体操などの自主的なサークルをサポートすることです。



教室で講話をする小村職員

この職場で仕事を始めていろいろな驚きがあります。単純に身体（筋肉や関節）を強くするばかりが健康に生きていく方法ではないと頭ではわかっていましたが、仕事で関わった皆さまを見てみると、健康には身体の強さだけではなく、人との「繋がり」が重要だということに改めて気づかされました。

脳トレのサークルに寄せていただいた時のことです。参加した皆さま同士でそれぞれ得意な問題について教え合いながら、ワイワイと楽しませていました。徒歩や自転車で身体を動かしてその場所に集まり、笑って、頭を使って…こうした「繋がり」がもたらす健康効果は計り知れないものだ実感しました。

効果的な運動を考えることは、私の重要な仕事の一つです。しかし、運動のみに視野を狭めないようにしたいと思います。「繋がり」のある楽しい空間（楽しかったら、人との繋がりが自然に生まれますよね）をつくれるよう、柔軟な発想をしていきたいです。

京都市深草・醍醐地域介護予防推進センター

京都市伏見区深草小久保町 261 TEL: 075-641-2543

当センターより発行しております『介護予防推進センターだより』を Web でもご覧いただけます ▶



京都老人福祉協会の 障がい児・者向けサービスについて



京都老人福祉協会では、児童向けサービス、高齢者向けサービスだけでなく、障がい児・者向けサービスを提供する事業所が複数あります。

こどもの頃にはお子様の発達や託児に関すること、おとなになると就労や地域生活に関することのように、年齢に応じて、困りごとの内容は変わっていきます。そして、それらの困りごとに対して、利用できる福祉サービスの種類もさまざまです。

障がい児・者向けサービスについて、「具体的に、どんなことをしてくれるサービスなの?」「どうすれば利用できるの?」と、誰もが最初は迷われることと思います。そんな時にはぜひ、当法人へご相談ください。

地域で暮らす全ての人々の、その人らしさが尊重されること。年齢や障がいの有無に関わらず、地域で暮らし続けられること。当法人では、そんな当たり前を大切にしています。

小学校
入学前

児童発達支援



京都市児童療育センター「なないろ」

全年齢
対象

小学1年生
~
高校3年生

放課後等デイサービス



にじっこひろば 第二にじっこひろば

訪問サービス



春日丘センター 東高瀬川センター

18歳以上

就労継続支援A・B型



ワークパートナーYUI musubi

相談支援



京都市南部障害者地域生活支援センター「ふかくさ」

ご相談があればお問い合わせください
TEL.075-641-2560



うづらこども園 色水あそびを行いました

7月26日にうづらこども園で色水あそびを行いました。

先生たちは絵の具が溶けやすいように絵の具の硬さを調整したり、さまざまなあそびに広げられるように容器をたくさん置いておくなど準備を行いました。

子どもたちは戸惑うことなく参加し、「色水を飲まない」などのルールをしっかりと守って楽しみました。絵の具を溶かす際に何色になるかを想像しながら子ども同士で話していました。ペットボトルの中で作った色水をカップに移してジュースやゼリーに見立てて遊んだり、色水同士を混ぜて色の変化を楽しみました。また、うまく色水を作れない時には子ども同士で助け合っている様子も見ることができました。

色水あそびが子どもに与える影響

水への関心が深まり、戸惑いが軽減される

水の感触を楽しみ、その気持ちよさや流れる様子を五感で味わいます。

水が苦手な子どもには「触ってみたい」と前向きな気持ちを高めることが期待されます。

色への興味を高める

色が混ざる様子や変化に興味をもち、体験を通じて知識を深めることができます。

あそびの発展

色水をジュースや食べ物に見立てて、ごっこあそびや見立てあそびに広がるのが期待されます。

他の子どもとの関わりを楽しんだり、想像してあそぶ面白さを味わうことで豊かな発想力を育みます。

他のクラスの子とも関わることができる

他クラスと合同で行いました。異なる年齢であっても同じものを共有することにより関係を築いていくきっかけを作りました。



令和5年度決算報告書

社会福祉法人 京都老人福祉協会

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	1,017,878,551	流動負債	884,321,280
固定資産	3,120,680,296	固定負債	1,243,807,310
基本財産	2,149,782,139	負債の部合計	2,128,128,590
その他の固定資産	970,898,157	純資産の部	
		基本金	218,250,000
		国庫補助金等特別積立金	541,588,153
		その他の積立金	30,000,000
		次期繰越活動増減差額	1,220,592,104
		(内当期活動増減差額)	62,017,156
		純資産の部合計	2,010,430,257
資産の部合計	4,138,558,847	負債及び純資産の部合計	4,138,558,847

事業活動計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費	2,958,964,634	介護保険事業収益	2,859,130,168
事業費	504,938,286	老人福祉事業収益	173,728,632
事務費	384,719,780	児童福祉事業収益	4,582,350
就労支援事業費用	70,409,171	保育事業収益	335,269,238
利用者負担軽減額	5,027,260	就労支援事業収益	5,586,177
減価償却費	149,932,568	障害福祉サービス等事業収益	265,552,340
国庫補助金等特別積立金取崩額	-65,161,620	医療事業収益	42,793,417
徴収不能額	396,311	その他の事業収益	357,026,076
		経常経費寄付金収益	1,203,057
サービス活動費用計	4,009,226,390	サービス活動収益計	4,044,871,455
支払利息	14,784,173	借入金利息補助金収益	83,304
その他のサービス活動外費用	13,816,885	受取利息配当金収益	4,094
		その他のサービス活動外収益	52,791,353
サービス活動外費用計	28,601,058	サービス活動外収益計	52,878,751
固定資産除売却損・処分損	52,012	施設整備等補助金収益	3,599,330
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	-29,910	その他の特別収益	9,238,500
国庫補助金等特別積立金積立額	1,482,830		
その他の特別損失	9,238,500	特別収益計	12,837,830
特別費用計	10,743,432	(当期活動増減差額)	62,017,156
		前期繰越活動増減差額	1,158,574,948
その他の積立金積立額	0	基本金取崩額	0
次期繰越活動増減差額	1,220,592,104	その他の積立金取崩額	0
支出の部合計	5,269,162,984	収入の部合計	5,269,162,984

資金収支計算書

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
人件費支出	2,959,072,110	介護保険事業収入	2,859,130,168
事業費支出	504,938,286	老人福祉事業収入	173,728,632
事務費支出	384,719,780	児童福祉事業収入	4,582,350
就労支援事業支出	70,051,804	保育事業収入	335,269,238
利用者負担軽減額	5,027,260	就労支援事業収入	5,586,177
支払利息支出	14,784,173	障害福祉サービス等事業収入	265,552,340
その他の支出	12,690,059	医療事業収入	42,793,417
流動資産評価損等による資金減少額	396,311	その他の事業収入	357,026,076
		借入金利息補助金収入	83,304
		経常経費寄付金収入	1,203,057
		受取利息配当金収入	4,094
		その他の収入	52,791,353
事業活動支出計	3,951,679,783	事業活動収入計	4,097,750,206
設備資金借入金元金償還金支出	80,880,000	施設整備等補助金収入	3,599,330
固定資産取得支出	21,691,123	固定資産売却収入	
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,262,050		
設備整備等支出計	105,833,173	施設整備等収入計	3,599,330
長期運営資金借入金元金償還支出	44,076,000	その他の活動による収入	22,403,797
その他の活動による支出	18,835,255		
その他の活動支出計	62,911,255	その他の活動収入計	22,403,797
		(当期資金収支差額)	3,329,122
当期末支払資金残高	419,926,487	前期末支払資金残高	416,597,365
支出の部合計	4,540,350,698	収入の部合計	4,540,350,698

令和6年6月22日の評議員会で承認されました。



きっちゃん「さくら」 墨染まちとくらしセンター5周年 創立記念メニュー



墨染まちとくらしセンターは令和6年6月1日で開所5周年を迎えました。

そのお祝いとして、きっちゃん「さくら」から「創立記念メニュー」を提供いたしました。提供の様子をご紹介します。

普段できないことをしようと取り組み、天ぷらは高齢のご利用者様の目の前で揚げさせていただき、揚げたてアツアツを召し上がっていただくことができました。いつもより食が進んでおられる方が多く、とても喜んでいただきました。



献立内容

- 赤飯
- 天ぷらの盛り合わせ
(キス・海老・茄子・南瓜・大葉)
- ほうれん草の和え物
- お吸い物
- おやつ ● 紅白饅頭



子どもたちは、おやつの紅白饅頭を作っているところを見学にきてくれました。どうやって作っているのか興味津々の子どもたち。早く食べたいとキラキラした目で見てくれていましたよ。



今後もきっちゃん「さくら」として安全で美味しい食事はもちろんのこと、食べていただく方々に喜びや楽しさを味わっていただけるような食事の提供を目指していきたくております。

墨染まちとくらしセンター

墨染まちとくらしセンターは元水道局伏見営業所跡地に位置しており、高齢者向けの在宅サービス・保育園・まちの相談窓口・障がい支援センター・地域開放スペースと多岐にわたるサービスが混在している事業所です。共生&地域というキーワードをコンセプトに、誰もが気軽に立ち寄り、自然に交流ができる、まちの福祉拠点を目指してまいります。



編集後記

今号の表紙は墨染まちとくらしセンターが竣工した際に、上空から撮影した写真（中央下部の大きな建物）です。地域の皆さまにいつも見守っていただき、5周年を迎えることができました。記事では5周年創立記念の食事メニューを取り上げましたが、他にもイベントが計画されているとのことで、ぜひ記事にして皆さまにお届けできればと考えております。 広報委員 奥田